

横手市第2次総合計画後期基本計画 策定部会記録

日 時：令和2年11月17日（火）午前10時～11時22分

場 所：市役所本庁舎5階 第三委員会室

参加者：市民委員 民生委員 藤原幹子氏 介護保険運営協議会委員 小林由久氏

策定部会 リーダー 社会福祉課 佐々木 恵

サブリーダー 国保年金課 山口一人

書記 地域包括支援センター 藤田 孝輔

案 件：

1. 政策1素案について
2. 私たちが協力できることについて
3. 今後のスケジュールについて

11月20日まで ワーキンググループにおいて素案を作成

11月下旬 総合計画審議会（骨子案）

12月1日まで 策定部会で素案検討し経営企画課報告

12月中旬 政策会議（素案）

1月 総合計画審議会（素案）、パブリックコメント、議会（素案）

1～2月 ワーキンググループで、議会からの意見やパブリックコメントの意見を検討し、最終案作成

2月 政策会議（最終案）、総合計画審議会（諮問・答申）、議会提出

《協議内容》

1. 政策1素案について
2. 私たちが協力できることについて
3. 今後のスケジュールについて

策定部会の佐々木リーダーが施策1-1から1-6までの1「目指す将来の姿から5 私たち（市民・事業者）が協力できること」、今後のスケジュールについてを説明し、市民委員からの意見を求めた。

●施策1-1

藤原委員 ひとり親世帯が多くなり、深刻な状態になっている。
ひとり親を増やさないう、中学・高校での道徳教育を見直す必要がある。
境町の学童を黒川地区の子供が利用している。黒川単独はできないか。

●施策1-2

特になし

●施策1-3

藤原委員 高齢者は雪処理や雪囲いに難儀している。
最近では病院へ入院してもすぐに退院となるため、介護者の負担が大きくなっている。
いきいきサロンの利用者が減ってきている。やめる団体も出てきている。

●施策1-4

藤原委員 障がい者は把握できていない。
病院や施設から自宅へ戻った際、まだ偏見が多いと感じる。

●施策1-5

藤原委員 民生委員に確認せずに保護決定となるケースがあるようだ。状況を把握している民生委員に事前確認すべきだと思う。

小林委員 受給者に農作業などの働く機会を与えてほしい。

●施策1-6

藤原委員 ボランティア活動ができていない。今後、やってみたい。

小林委員 コロナの関係で控えているが、いろいろと練習はしているので活動を再開していきたい。

以上のとおりの意見が出された。5.「私たち（市民・事業者）が協力できること」に対する意見は無く、原案のとおりとすることとした。

以上